

マイヒストリー

全教科において、工夫改善しながら使用

いわゆる「振り返りカード」です。本校では、全教科共通でこの「マイヒストリー」を使用しています。

「マイヒストリー」の特徴として『記述による生徒の変容の見取り』+『選択式による働かせた(い)見方・考え方の見取り』であることが挙げられます。この点を強化していくことが研究のポイントになります。「記述による生徒の変容の見取り」は、今後、新学習指導要領における評価の観点「主体的に学習に取り組む態度」へ生かしていかなければなりません。また、「選択式による働かせた(い)見方・考え方の見取り」は、文科省が深い学びを「～各教科等の特質に応じた『見方・考え方』を働かせながら～」と示している以上、各単元・題材ごとに明確にしていかなければならないものです。

- 令和2年度、各教科において、全学年・全単元および題材に対応したマイヒストリーを作成しました。各単元・題材において働かせたい見方・考え方を3～5項目設定したものが完成しています。今年度はそれを引き継ぎつつ、担当者の指導観・単元観に応じてさらにアップデートしていくことを研究のポイントとします。
- ※研究授業がある場合は、指導案の「2」とこの項目が整合しているように！

数学		社会との関わりをもって自ら学びを深める生徒になろう！				
マイヒストリー		平行と合同		単元の学習をはじめにあたって		
(2)年(1)組		振り返り		今日の授業でできたことに○をつけましょう		
氏名		授業を受ける前と後でどんなことが変わりましたか(分かりましたか)?それはなぜですか?		図形を、全体としてだけでなく、必要な部分に注目して考えることができた。		
日付		学習内容		具体的ないくつかを調べて、きまりを見付けることができた。		
10/23	平行と角①	対頂角が等しい証明はあたりまえのことだからできないと思ってたけど、とあたりまえの「直線は180°」を逆に使って証明できた。		すでに学んだことを基にして説明することができた。		
10/26	三角形の内角	★小学校でよく出た。あの問題にこんなスピードでできる手っ取り早い方法があることがわかってびっくりした。		根拠を明らかにして説明することができた。		
11/2	五角形の内角	図形でこの単元と同じように小学校のときと同じような考え方を使って問題を解けることがわかった。		「既習事項を使おうとする」ことが、単元を超えて有用であると実感しています。		
11/6	多角形の内角	最初に「全体-180°=1×内角和」の見方を工夫して使えば、答えられる場合と、手順も楽になったけど、少しは面倒だった。		「図形でも」をね、既習事項は大切だ。		
11/9	工求角問題	補助線を書いて「Z」とか「みっつあみ」を手探りで使ったけど、今日は自分の力でみっつあみで解決した。		「この工求角問題は「頭の強いオ」が、将来世の中を動かす場面が設定されたね!!」		
11/12	工求角問題	初めは延長で答えを出せたけど、平行線に180°の角を見つけたら、たしかにいろんな方法でできるようにしたいと思った。		価値付けは少しオーバーなくらいでちょうどいい気がします。意識に開けたことで自分も鍛えられた感じがするね!!		

上の「☆」と比較しても明らかですが、「部分を抜き出す」という見方・考え方が「働かせられて嬉しい」「働かせきれず悔しい」と強く意識されるようになっていきます。見方・考え方が鍛えられ、この生徒の中で確かなもの(他の場面にも生きるもの)になっている過程と考えられます。
⇒絶えず授業の中で「提示する(助言する)」「働かせた場面で価値付けする」等を繰り返してきた成果です。